

「富山ニュービジネス協議会」第5回例会

平成30年3月8日（木）18:00～19:30

於：富山電気ビルディング

講師：株式会社トライエッジ代表取締役 CEO 中野 三四郎 氏

参加者：31名

講演テーマ：「AIで経営はどう変わるか」

富山 NBC 第5回例会が開催されました。

講師の中野氏は M&A コンサルファームやメーカーでの営業企画などを経て、2011 年トライエッジを設立、大手 IT 企業、人材ビジネス企業など 100 社以上のセールス支援・マーケティング支援を行っていらっしゃいます。現在はトライエッジにて CRM 構築や AI を活用したマーケティング支援を展開しご活躍中です。



講演冒頭において、参加者の方からは、

「本格的な活用方法が知りたい」

「AI の”感性”について興味がある」

「AI の活躍が地方の企業にどのように影響を及ぼし、どのようにしていくべきか」

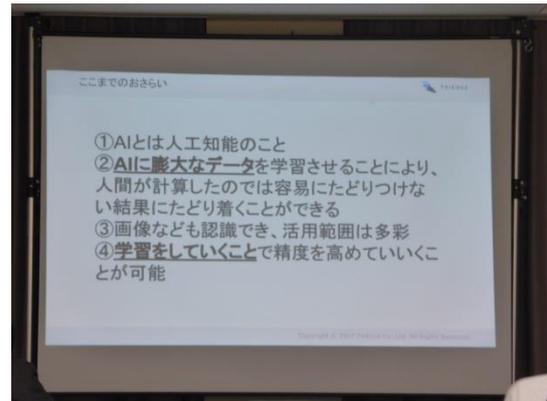
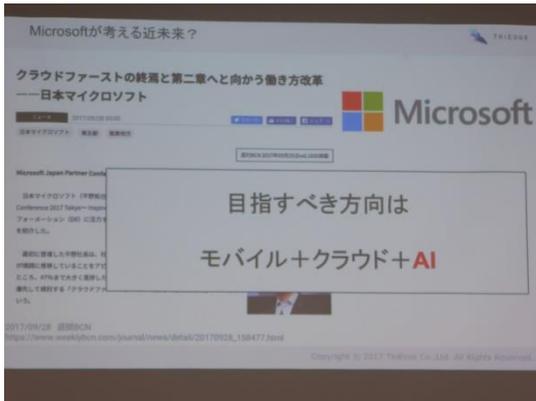
などの声が聞かれ、業界問わず様々な方が AI に対して高い関心をお持ちだとみられました。

今回のセミナーにおいては、具体的な活用事例やそもそも AI とは？という部分も交えてご講演頂きました。

●IT 企業の AI 化について

昨今、大手 IT 企業 Google ではプロダクトの中心をモバイルファースト（携帯端末スマートフォン中心）から AI ファーストに移行しており、インターネット広告や Google 翻訳などプロダクトの約半分が AI 化されている。

また、マイクロソフトでも目指すべき方向を「モバイル」+「クラウド」+「AI」としている。その他にもアップルやアマゾンなどの大手も AI スピーカーなどを相次いで出品していることから世界の流れとしても、AI 化が今後更に進むことが予想される。



●AIの活用事例

世界で活用されている事例としては、昨年非常に話題となった、囲碁AI「AlphaGo」が世界1位の囲碁棋士を学習期間わずか1週間で倒したこと。銀行や証券会社をはじめ、パン屋・ラーメン屋などの小売業やタクシー会社などの接客業から医療・キュウリ農家など様々な業界での実際の活用方法について具体的にご紹介いただきました。

●AIとは

①AIとは人工知能の事

②AIに膨大なデータ（最低3,000件）を学習させることにより、人間が計算したのでは容易にたどり着けない結果にたどり着くことができる。

③画像なども認識でき、活用範囲は多彩。

④学習をしていくことで精度を高めていく事が可能。

AIは万能のように感じてしまうが、実際は過去のデータを分析、最善の手を打つことができるが、経験していないことには対応できないなど得意・不得意があり決して万能ではない。

●経営に活かすためにやるべきこと

AIは経営の補助ツールであり、優秀なアシスタントだと認識すべきである。

人手がかかっている作業を代行させたり、過去の定量的な実績を分析することで、効率化を図る為に活用する。

AIを活用する為の準備としては以下の2点がポイントである。

①AIにやってもらう事を決める

②AIが考えるために必要なデータを社内に蓄積させる

企業課題を明確にし、解決するためのデータを集めAIに作業を代行して(出来ない事をやって)もらう。

